

# ひらいずみ 議会だより

第158号  
平成30年2月1日  
定例会12月会議



## 大家族、集合!

4世代7人で暮らす小笠寺家の笑顔の源は、一姫二太郎のお孫さんたちです。朝から元気なお孫さんたちを見ると、「じいじ」、「ばあば」と「びー爺」も自然に笑顔になってしまうようです。

- 定例会12月会議 ②㊟～
- 一般質問 ④㊟～
- 各種団体との懇談会 ⑮㊟
- 報告 ⑯㊟
- 請願・意見書 ⑰㊟
- 私もひとこと/あとがき ⑱㊟

### 目次

## 私も ひらいずみ

菊池幸介  
平泉字花立



### 「浄土の館」の使命

「浄土の館」は、宿泊施設が少なく滞在時間が限られる当町の現状を受けて、地域住民との交流機能・宿泊機能を備えた浄土思想の伝承と体験のための施設として整備されました。

始祖清衡公より連綿と培われ、醸成されてきた平泉の理念。それを体現した様々な文化。当施設を活用することでこれら次の世代に継承していくこと。私はこれこそが「浄土の館」の使命であると考えます。私が大学進学以来、十

六年間暮らしておりました関東を離れ、郷里平泉に戻って参りましたのは、藩政時代より平泉で伝承されて参りました「中尊寺能」の一助とならんがため、ただそのためだけに言っても過言ではありません。

実家に戻って何をしようかなどというところは、まるで考えておらず、まして会社を立ち上げて「浄土の館」を運営することになるなどは夢にも思いませんでした。ただただ実家に戻ってお能に従事できれば師匠のため、流儀のため、ひいては能楽界のためになると考えていただけのことなのです。

喜多流の謡と舞を佐々木多門先生に師事致しまして早や十八年が経ちました。先生が中尊寺円乗院のご出自である関係から、入門の翌年からだっ

たでしょうか、春・秋の藤原まつりのお能の際にはその都度帰省して、楽屋働きから御出仕させて頂いておりました。今にして思うとこれが本当に良かったのだと思います。平泉と私をつなぎ続けていくくれたのは「お能」だったのです。毎年中尊寺のお能にご出仕させて頂き、その度に故・岩淵勝次郎さんのお宅で「餅の会」と呼ばれる懇親会がありました。その席で地元の方々の方々と面識を得ることができました。ここで人と人のつながりがなかったら、私は「浄土の館」を経営しようとは思わなかったでしょう。

「浄土の館」の開業とほぼ同時期に私は観自在王院跡で「まつりフェス」というイベントを開催致しました。その団体のメンバーが今、経営陣に二人加わっております。「餅の会」のように、「浄土の館」に人が集まり、縁を結ぶ場になっていければと思っております。

## 自慢の大家族

びー爺(88歳)は日課となったゲートボールで体力をつけて、ひ孫たちの賑やかな声が元気の「源」でしょうか。パパ、ママは仕事で夜勤もあり、育児の助っ人はおじいさん、おばあさんです。近くに住んでいる孫たちも一緒に保育所・学童のお迎えと忙しい毎日ですと話していますが、そこには家族円満の秘訣が隠されていると思えました。



パパと一緒に造った「かまくら」の前で



## あとがき

小寒、大寒、立春、雨水、啓蟄、春分と二十四節気の季節の節目が、少しずつ春に向かっていくことを陽の明るさから感じます。厳しい寒さももう少しです。

今、80年前の著書、「君たちはどう生きるか」が多くの人に読まれているそうです。時代を超えて読者をひきつける魅力は何なのでしょう。いつの時代にあっても変わることはない問いかけです。議会広報も読者をひきつける情報誌にしたいと苦心しています。それは作り手の思いを伝えたいと思うからです。伝わっているでしょうか。皆様のご意見をお待ちしています。



升沢博子

### 編集スタッフ

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 升沢博子 |
| 副委員長 | 水室裕史 |
| 委員   | 阿部圭二 |
| 委員   | 寺崎敏子 |

議会だよりは再生紙を使用しています

# 地域課題に対応した 予算の執行を

新年あいなづ



平泉町議会議員  
佐藤 孝悟

新春のお慶び申し上げます。議員12名がスタートし、早くも2年を迎えようとしています。さて、平成30年度に向け大型事業が展開され町は大きく変わろうとしています。議会としては議論を重ね審議を慎重に行っていく責務があります。町民のニーズに応えるべく努力して参ります。皆様におかれましては、おだやかな年でありませう御祈念申し上げ挨拶と致します。

- 副議長 寺崎 敏子
- 議員 千葉 勝男
- 議員 佐々木 雄一
- 議員 佐々木 一治
- 議員 升沢 博子
- 議員 高橋 伸二
- 議員 真籠 光幸
- 議員 三枚山 光裕
- 議員 阿部 圭二
- 議員 高橋 拓生
- 議員 水室 裕史

## 定例会12月会議

定例会12月会議は12月7日から14日まで8日間の会議期間で開かれました。

町長から提出された条例案件2件、事件案件3件、補正予算案件8件はすべて原案のとおり可決されました。また、最終日には議員発議4件が提案され、すべて原案のとおり可決されました。また、一般質問には10人の議員が登壇し、町政課題について町長の考えをただしました。

### 報告案件

●一般会計補正予算の専決処分報告について  
▽衆議院議員総選挙の執行に係る経費の補正予算を報告したもの。

### 条例案件

●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正（全員賛成で可決）  
▽人事院勧告を参考に、職員の勤勉手当の支給月数を0・1月引き上げし、給料月額を初任



整備予定の特別養護老人ホーム「いこいの結」前の道路

給若年層で10000円、高齢層で4000円、平均改定率で0・2%の引き上げをするもの。  
●平泉町簡易水道事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例（全員賛成で可決）  
▽簡易水道事業を公営会計事業に移行するため、関係条例8件の一部改正と2件の条例廃止を行い、町の水道会計を統合し、水道事業の合理化を図るもの。

### 議員発議

●議会基本条例の一部改正（全員賛成で可決）  
▽議会の活性化のための運営ルールの改正をしたもの。

### 議案質疑

問 三枚山光裕議員  
簡易水道事業が平成32年4月までに地方公営企業に移行するにあたって、その経費の見込みは。

### 事件案件

●一関地区広域行政組合規約の一部変更に関する議決を求めることについて（全員賛成で可決）  
▽旧東磐職業訓練センターの用途を廃止しようとするもの。

答 建設水道課長  
条例、会計システム、固定資産台帳の整備などで3000万円程度かかる。

問 高橋伸二議員  
財産管理費の町有地舗装工事の内容は。

答 総務課長  
特別養護老人ホーム「いこいの結」に通じる町道の舗装工事であり地域課題としての対応ではなく、町有地管理としての予算支出となった。

問 高橋伸二議員  
地域活力推進費、残額250万円は不用額とせず地域課題に対応する予算ではないか。

### 定例会1月会議

●坂下地区(分譲地)整備工事費 202万円  
●道路(髭石線)照明灯設置工事費 300万円  
●地域(佐野地区)集積協力金補助金 349万円  
●図書館エアコン入れ替え工事 △281万円  
●長島球場整備業務委託料 79万円  
●就学援助費(平成30年度対象) 70万円  
●町有地(いこいの結)舗装工事 258万円

定例会1月会議が1月5日に開催され、会期を12月27日までの357日と決定しました。また、平成30年の年頭にあたり議長及び町長から、町政課題に取り組む内容のあいさつがありました。

### 補正予算

●平成29年度補正予算（全員賛成で可決）  
8会計でそれぞれ補正予算が上程されました。一般会計の主な補正の内容は次のとおりです。

- 〔歳入〕
- 法人町民税 2032万円
- 財政調整基金繰入金 △1707万円
- 〔歳出〕
- 町有地(いこいの結)舗装工事 258万円

### 平成29年度各会計の補正予算

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	2533万円	49億2651万円
特別会計	国民健康保険	9億9290万円
	後期高齢者医療	8059万円
	町営駐車場	6595万円
	下水道事業	3億4626万円
	農業集落排水事業	7388万円
簡易水道事業	2億774万円	
企業会計・水道事業会計	141万円	3億2938万円

問 高橋拓生議員  
企画費の坂下地区整備工事の内容は。

答 まちづくり推進課長  
定住化対策として分譲した坂下地区第3駐車場跡地3区画の入り口を整備するためである。

問 保健センター所長  
今年度包括支援センターが機能できなかったことから施設の機能訓練などのサービスCが実施できなかったことによる。現在は包括支援センターも再開しているので後半で対応していきたい。

問 佐々木雄一議員  
放射線健康相談支援事業費について伺う。

答 保健センター所長  
子どもの尿検査と甲状腺検査であり、これからの実施となる。甲状腺検査も3年目となり

問 升沢博子議員  
地域支援事業委託金70万円減額は総合事業が実施できていないことによるが、その理由は。

問 寺崎敏子議員  
文化遺産センター所長  
事業の進捗により発掘の屋内作業が必要になり、12名の作業員60日程度の賃金の補正となる。



真 籠 光 幸 議員

**問** 結婚出産に対する祝い金は絶対必要か。

結婚新生活支援助業補助金などの交付金を活用して、新婚世帯に対する住居費と引越費用の助成を検討している。

**問** 町内への移住の促進と定住化を図るためにも、新婚世帯に限った家賃助成を行い、結果として出生数を

**問** 中学校3年生を対象にした結婚への意識調査を町として行い、結婚・出産に対しての町の政策を説明する機会を設けては如何か。

**問** 高齢化が加速し、今後も今以上に負担が増すものと思われる。業務の分担と報酬の加算措置を検討すべきか。

**町長** 結婚新生活支援助業補助金などの交付金を活用して、新婚世帯に対する住居費と引越費用の助成を検討している。

**問** 町内への移住の促進と定住化を図るためにも、新婚世帯に限った家賃助成を行い、結果として出生数を

**問** 中学校3年生を対象にした結婚への意識調査を町として行い、結婚・出産に対しての町の政策を説明する機会を設けては如何か。

**町長** 日常的に活動するとすると、退職された方などを選出することから、どうしても年齢構成が高くなる。負担の軽減をしたいとは思いますが、制度上の問題や生活課題の多様化があり難しい。

**課長** 町民福祉課の軽減は難しいが、定例会を通じて助言していきたい。

**問** 晩婚、晩産化に歯止めをかけるため、結婚祝い金・出産祝い金・家賃補助などの現物給付を行うべきではないか。

**問** 要である。特に第3子以上の出産に対しての手厚い給付を行うべきではないか。

**問** 上げる政策展開が重要ではないか。

**問** 本町の民生委員は、26名中60代以上が22名であり、全体の平均は54%で本町の民生委員の高齢化の高さがわかる。委員の負担を軽減する必要があると思うがいかがか。

**課長** 町民福祉課の軽減は難しいが、定例会を通じて助言していきたい。

平泉町国勢調査年齢階級別人口推移

	昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年	平成7年	平成17年	平成27年
0～4歳	1,392	727	627	654	400	354	265
5～9歳	1,458	955	595	724	485	360	298
10～14歳	1,281	1,298	723	672	646	437	335
15～19歳	1,027	958	738	526	628	413	308

少子化の課題は深刻です。当町では60年で0～4歳の子どもが80%減少しました。人口減少に歯止めをかける政策が最重要です。

議員のひとりごと

**A** 新婚世帯の助成を検討する

**Q** 少子化対策の祝い金給付を

**A** 関係機関と相談しながら対応していく

**Q** 民生委員の負担軽減を

# ここが聞きたい

## 一般質問で町の考えを問う

### 一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。12月会議では10人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

- 真籠光幸 議員… P5
  - ① 少子対策について
  - ② 高齢者対策について
  - ③ 民生委員の負担軽減について
- 三枚山光裕 議員… P6
  - ① ごみ減量化の取り組みについて
  - ② J Aいわて平泉長島支店前の歩道整備について
- 氷室裕史 議員… P7
  - ① 防火水槽の堆積物の処理について
  - ② 婦人消防協力隊への助成について
  - ③ 町内公共施設のAED(自動体外式除細動器)に関して
- 阿部圭二 議員… P8
  - ① 農業振興と後継者対策について
  - ② 小学校卒業まで医療費の窓口負担無料化(現物給付)の実現について
  - ③ 新しい住宅支援策について
- 高橋拓生 議員… P9
  - ① 観光振興について
  - ② リフォーム関連事業について
  - ③ 社会教育、スポーツ振興について
- 升沢博子 議員… P10
  - ① 第4次行政改革プランの取り組みについて
  - ② 財政計画について
- 千葉勝男 議員… P11
  - ① 町長の目指す町政について
  - ② 町政課題について
  - ③ 観光歴史館について
  - ④ 減反政策について
- 寺崎敏子 議員… P12
  - ① 成人保健事業の推進について
  - ② 幼保一体化について
- 佐々木雄一 議員… P13
  - ① 育英資金貸付基金について
  - ② 交通体系の整備について
- 高橋伸二 議員… P14
  - ① 改正災害対策基本法への対応
  - ② 本町におけるカモシカ食害対策
  - ③ 大規模災害時の学校における避難所運営
  - ④ 教職員の長時間労働是正に向けた対応

**インフォメーション**

請願書や陳情書の提出方法

町民の皆さんの意見や要望などを町政に反映させる方法として、請願・陳情の制度があります。請願書や陳情書の作成方法や提出する場合の注意事項は次のとおりです。

① 請願・陳情の内容は、要旨や理由を簡単にわかりやすく記載し、提出年月日、提出者の住所と氏名を書いて押印してください。

② 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に署名又は記名押印をしてください。

③ 紹介議員がいなくとも、陳情書として提出してください。

④ 道路や建築物などの場合は、簡単な地図や略図などの図面を添付してください。

⑤ 請願書や陳情書は、定例会議で審査されますので、定例会議前の早めの提出をお願いします。

**<内容>**

年月日

平泉町議会 議員 ○○○○ 様

請願(陳情)者の住所 氏名 ○○○○ 印

○●についての請願(陳情)(要旨) ……………

(理由) ……………

**<表紙>**

請願(陳情)書

紹介議員 氏名 ○○○○ 印 (陳情の場合は紹介議員不要)

・用紙サイズはA4です。

# Q ごみ減量化の計画をつくるべき

## A 計画は必要と思う



三枚山光裕 議員

**問** 平泉町では、一般ごみが増加しており、ごみ減量化の流れに逆行している。平泉町としてごみ減量の計画を持つべきである。

しっかりとしたごみ減量化、リサイクルのための計画が無いからだ。一関市は「一般廃棄物減量基本計画」を今年つくった。平泉でもつくるべきだ。

**町長** 町のごみ減量化は、一関広域行政組合で策定している。排出量は減少傾向にあるが、一人あたりはほぼ横ばいで推移している。

**町民福祉課長** 一関の計画を見させていただきながら、そういったものをつくっていくことは必要かなと思う。

**問** 減っていないのは事実である。

**町長** 焼却をしないことで新たな負

**Q** 燃やさないごみ処理、視察の派遣を職員派遣の段階にない

**問** 燃やす量に比例して酸素が必要で温暖化の要因になる。大きい焼却炉をつくれればそれだけ温暖化が進む。ごみを半減すれば、焼却炉の建設費も少なくなすむし、最終処分場も長く使える。鹿兒島県の大崎町では焼却は2割だけで、4年で8割にごみを減らした。積極的なごみ減量化が必要と思うがいかがか。

まず、職員を派遣して視察の検討をすべきである。

担も出てくる。生ごみ処理には、たい肥場など別な経費もかかる。職員派遣の調査は、現時点ではその段階にない。

**Q** JA長島支店前の歩道整備を急いで一日も早い要望実現に努力したい

**問** JAいわて平泉長島支店前の歩道整備を、より積極的に県に要望し、早期の整備を求めざるべきである。

**町長** 県に対し、七曲り交差点の抜本的な改良を要望した。回答はCランクの「当面は実現できないもの」との回答。一日も早い要望実現に努力したい。

**問** 歩道整備には農協の土地がある。JAいわて平泉の組合長と話した。組合長は協力すると言っている。県の担当課とも話した。



JA長島支店前、通称「七曲り交差点」

地球の未来のために  
ごみの減量化を

議員の  
ひとりごと

# Q 防火水槽の堆積物の処理は

## A 一時保管場所の確保が課題

**問** 国が安全と定めている空間線量と放射能濃度の基準値は。

**放射線対策室長** 空間線量で0・23マイクロロシベルト、放射能濃度は8000ベクレル以下のものとされている。

**問** 町内防火水槽の空間線量と放射能濃度は。

**放射線対策室長** 町内の無蓋防火水槽43か



氷室裕史 議員

所の線量を調査したが、すべて0・23マイクロロシベルトを下回っていた。堆積物の放射能濃度は町内の5か所を調査し、高いところで540ベクレル、低いところで232ベクレルであり、国の基準値8000ベクレルを大きく下回っている。

**問** 町内で一時保管場所の目処が立たない場合、町外へ保管場所を打診するのは可能か。

**放射線対策室長** この補助は染土砂の処理についてのものだと考えている。防火水槽の堆積物の処理について活用することが可

能であると考えられるが、当町で発生した土砂であり、ごく少量ではあるが放射性物質が含まれているため、他自治体への移動を含めた搬入は敬遠されてしまおうと考えられる。そのため、町内で一時保管する形で検討するのが現実的であると考えられる。

**総務課長** 物理的には可能であると考えられるが、

**問** 2013年から保管場所の整備について補助を実施しているが、これを活用することはできないのか。

**問** 児童・生徒、職員への※AED使用方法の周知は。

**教育長** 生徒等への周知は防災教育の一環として毎年救命講習を行っている。職員への周知は幼稚園及び小中学

能かどうかは確認が必要である。仮に活用できるのであれば、そのような方向も考えられるのではないかと思う。

**Q** AEDの配備状況は

**問** 町内公共施設への配備状況は。

**教育長** 学校、幼稚園などの14施設に設置している。未設置となっている道の駅平泉、浄土の館などについては計画的に設置を行い、緊急時の備えに努める。

**問** 児童・生徒、職員への※AED使用方法の周知は。

**教育長** 生徒等への周知は防災教育の一環として毎年救命講習を行っている。職員への周知は幼稚園及び小中学

**問** 屋外イベント時の対応は。

**教育次長** 東下り行興等の大規模な屋外イベント時は一関西消防署平泉分署員がAEDを携帯し帯同している。今後も緊急時に備えた対応を実施していく。

※AED  
自動体外式除細動器。心臓が細かくけいれんし、血液を送れなくなる不整脈を正常なリズムに戻すための医療機器である。

その他質問事項  
・婦人消防協力隊への助成に関して



対応しやすい場所に置いてある、ふたばきり園のAED

# 新規就農者の支援は 後継者育成の認識が必要



阿部圭二 議員

**問** 農業振興と後継者対策について、新規就農者の拡大も必要と考えるがいかがか。

**町長** 新規就農者の育成、確保そして定住促進が重要であると認識し、町単独事業の新規就農者支援事業を活用しながら、新規就農者の育成、確保及び定住促進に努めている。

**問** 平泉独自の支援策は何か。「道の

駅」の野菜の供給量は、

**農林振興課長** 平泉新規就農者支援事業補助金を使い、就農に向け取り組んでいる。道の駅の野菜の供給量は6月以降増えている。30年以降の生産の計画等も打ち合わせる予定である。

**問** 兵庫県で、「親方制度」をつくらせて、後見人的応援活動する支援策について知っているか。

**農林振興課長** 認定農業者の中で新規就農者と育成への共通認識を持っている方がいれば可能である。

**農林振興課長** 聞いたことはあるが、具体的には知らない。

**問** 後見人的応援活動、「親方制度」で新規就農者が、地域に溶け込み、早期に経営安定できるように応援することは可能か。

**農林振興課長** 認定農業者の中で新規就農者と育成への共通認識を持っている方がいれば可能である。



地元野菜を余るほど道の駅へ

年代の方々への就農支援を考えたことはあるのか。60歳以上の方たちは10年も15年も農業ができるので研究してほしい。

**農林振興課長** 年齢的なことでの支援は難しい。地域で若い人を迎える体制を作りたい。

## 窓口医療費無料化は可能か A 全県統一が望ましい

**問** 小学校まで医療費の窓口負担無料化、現物給付の実現に向けて積極的役割を發揮すべきと考えるがいかがか。

**町長** 現物給付は町村会でも国に、子ども医療費助成事業を実施するよう要望している。小学校までの医療費の現物給付を実施する場合は全県統一が望ましい。

**問** 子どもの貧困が問題になっている。窓口負担無料化を実現して病気の重症化を防いでほしい。未就学児向けのペナルティを廃止する

話が出ている。そのときは全県に窓口負担無料化へ働きかけてはどうか。

**町民福祉課長** 今年度途中から高校生まで給付を拡大している。現物給付は、少子化対策と経済的負担の軽減のため働きかけを含めて取り組んでいく。

**※親方制度**  
後見人的応援活動もよい、兵庫県では新規就農者一人当たり年間25万円を町が支給している。年間150時間を使い栽培技術、経営安定、販路の確保、指導や農地の確保などの応援をする。

**※ペナルティ**  
厚生労働省が医療費の独自助成、子供の医療費の負担無料化や現物給付をしている自治体に対して国民健康保険の補助金を減らすこと。

# Q リフォーム関連の新たな事業助成は A 町の施策による住宅改善への助成を検討

**問** 11月27日平泉建築組合から「住宅・店舗リノベーション事業」の新設に係る請願が提出されたが、現在検討中の新たな住宅支援策は。

**町長** 既存の補助事業との調整を行いながら、下水道の普及率の向上や景観の向上、空き家対策など、町の施策に基づく住宅改善への助成を検討している。

**問** 住宅改修関連事業は現在16事業あるがわかりやすい周知方法を。

**建設水道課長** 住宅補修、改修、景観支援事業は、現在4つの担当課で16事業あり多岐にわたっている。今後担当課と協議してわかりやすく周知をしていく。

## Q 長島球場の整備計画は A 今年度に行う

**問** 建設後約30年経つ長島球場の整備について伺う。



平成2年建設の長島球場

**教育長** 内野グラウンドについて、長年の使用による経年劣化等により凸凹が目立っていることから、今年度による整備を行う。

**問** 長島小学校統合40周年記念事業の成果は。

**教育長** 在校生や卒業生、地域の方々、教職員、保護者らが集い、伝統の合奏団活動を初めとする40年の歩みを振り返るとともに、新たな歴史の創造と発展を誓い合



長島小学校統合40周年記念事業

**問** 親子ふれあいコンサートについて、規模の小さい学校のオーケストラは全国的に事例がないとのこと、これも教育上の一つの文化であると考えが見解は。

**教育長** 地域一体となる活動で地域を元気にしている、かけがえのない取り組みである。今後も引き続き支援していく。

**問** 体育館施設利用団体調整会議の構成は。

**教育長** 限られた施設の有効活用、利便性の向上を目的に年2回開催、より多くの町民が利用できるような調整を図っている。

**問** 体育協会から体育館早期建設要望が出されたが見解を伺う。

**町長** 社会教育施設は、現在基本構想、基本計画策定及び民間活力導入可能性調査を業務委託している。12月には整備手法、3月には建設地の構想も含めた事業計画について具体的な計画を提示していく。

その他質問事項  
・観光振興について

6つの中小企業支援策や新たに創業支援ネットワーク会議の設立で有効な支援が期待される。

議員のひとりごと



高橋拓生 議員

# 行政改革プランの取り組みは情報公開などで効果あり



升沢 博子 議員

の老朽化等の課題があり、自校方式の継続か業務委託かの可能性を検討している。

**問** 当時の小学校の給食単独自校方式の良さについてどのように考えるか。

**問** 情報公開について今年度新しくなったホームページやフェイスブックの効果は。

**まちづくり推進課長** 確認の上、今後は公開することも検討していきたい。

**町長** ホームページのアクセスは4月から現在まで53万2165件である。問い合わせ件数は大幅に増えており、各課で適切に対応している。

**問** 民間委託、民営化への取り組みで、小学校の給食調理業務委託についての検討内容は。

**問** 寄せられた意見、要望への回答を公開できないか。

**教育長** 小学校は単独自校方式、中学校は一関市に委託している。小学校の給食施設設備



老朽化が著しい町立公民館、新たな教育複合施設として生まれ変わることが期待される

**教育長** 温かくできたもたちは食べることができ、地場産品を活用できるメリットがある。食育の面からも栄養士が学級を訪問して身近に食育指導に当たることができる。

## Q 長期的な財政計画は A 選択と集中で協働のまちづくりを



新たに建設計画がある町立図書館、健全財政により充実した施設を期待したい

くを占め、高額となっているが、精査した妥当な額となっているか。

**問** 総務省が公開している決算情報で当町と類似した団体との比較は行っているか。特に高くなっている費目はあるか。

**総務課長** 各団体は規約に基づき目的にあった活動を行っているか、補助金に見合った事業を実施しているかをチェックして予算措置している。

**総務課長** 世界遺産関係による人件費の割合が高く、また扶助費（生活扶助、医療扶助費等）物件費等が少し高くなっている。

**問** 補助費等は各団体への補助金が多

**問** 総合計画に基づいた施策について、現在は町民の代表が報告を受け諮問する形をとっているが、今後続く大型事業等について立案、実施、評価に町民が主体的

我が家の家計簿とは違う町の収入と支出のからくり、住民が財政白書を作る時代です。皆さんも町の財布にぜひ関心を持ちましょう。

議員のひとりごと

# Q 町長の目指す町政は A 町民主役の協働のまちづくり

**問** 町長は熱い想いがあり、三つ巴の町長選挙を勝ち抜いた。町長に就任し3年4カ月の月日が流れたが、その総括を問う。

**町長** 町民主役のまちづくりを実現するため、1年目と3年目に地域懇談会を開催した。地域課題等に関する提言を受けつつ、その中で役場と町民の距離が近くなったという話もあり、大変うれしく思った。そ

ういった意味での手ごたえは感じている。当町には、少子高齢化とそれに伴う人口減少という大きな問題がある。この問題も含め、町が小さいことをマイナスと捉えるのではなく、小さいからこそ可能なことがあると考え、今後も町長の顔が見える行政を実現していきたい。その上で道の駅を軸とした産業振興や社会教育施設の建設など大型事業にも取り組んでいく。

**問** スマートインテナーの事業費抑制のための方策は。

**町長** 高速道路と町道を交差する

※ボックスカルバートの設置方法を※推進工法から高速道路を切り回す迂回路方式に変更した。また、迂回路工事等に使用する盛り土を購入土ではなく、遊水地内の残土の提供を受けるよう国土交通省と協議している。

**問** 社会教育施設整備に係る建設地の構想と整備手法であるPF1等の見直しは。

**町長** 整備手法については、基本構想、基本計画策定、民間活力導入可能性調査を業務委託している。公民



解体予定の旧小島小学校



閉館して4年が過ぎ、問題を抱える旧夢館

**問** 平成25年に閉館した夢館のその後の動向は。

**町長** 夢館を経営していた会社が2カ月に一度は施設を訪れ、施設の維持や近隣住民からの要望にも対応している。今後の方向性としては、現在夢館を管理している会社から施設を売却したい旨を聞いている。

**問** 防災上の問題を抱える旧小島小学校はどうするのか。

**町長** 平成29年12月31日まで貸し付けを行っているが、新年度に予算措置をし、取り壊しを予定している。

※ボックスカルバート 地中に埋設される箱型の建造物のことをいう。道路・水路・通信線の収容など、各種の用途に使用される。

※推進工法 地中を掘削しつつ、後方の油圧ジャッキで押し進める工法。



千葉勝男 議員

整備手法については、基本構想、基本計画策定、民間活力導入可能性調査を業務委託している。公民

平成29年12月31日まで貸し付けを行っているが、新年度に予算措置をし、取り壊しを予定している。

### Q がん検診の負担軽減策は

### A 助成額の増額を検討したい



寺崎敏子 議員

の約3割を目安に設定し、50歳の節目の方にクーポン券を配布し今後も継続する。

**問** 働く女性が多く勤務地近くの病院での検診は。

**保健センター所長** 他の自治体と比較して難しいと考えています。

**問** 男性疾病である前立腺がん検診の推進は。

**町長** 50歳以上の男性を対象に実施している血液検査の受診で早期発見・治療を促す普及啓発に努めます。

**問** ヤング検診の特典策は。

**町長** 2年に1回の受診で実施している。個人負担は検診料

**保健センター所長** 18歳～39歳の若者への基本検診であり、職場での検診状況が主で特典策はない。しかし、職場において検診を促すよう町として対応したい。

### Q の幼保一体化の現状は

### A 現行の幼保一体化の運営で

**問** 幼保一体化の課題と認定子ども園の考えは。

**町民福祉課長** 子ども・子育て支援新制度により措置費負担金から施設型給付費となったが、運営内容等を整備する必要があり、特に未満児の受け入れ解決策も含め今後も研究課題として現行の運営を考えている。

育所の実態と今後の推移を慎重に見ていくことと保育士間の研修を増やし、より指導力、実践力を高める資質のレベルを同じくする姿勢が望ましいと考えている。

**問** 未満児の保育室環境は。

**町長** 未満児の保育需要が高く保育室が窮屈であるが、子どもの安全に努めている。

**問** 0歳～2歳は基本的な習慣が身につく一番大切な時期であり、保育室の環境が望ましくなければ緊急な対策を講じるべきだが町長の見解は。

**町長** 保育所の実態を見て厳しい状況であることは承知している。整備出来るものから整え安心な子育て環境に努める。



パパに抱っこされ登園する朝の様子

### Q 育英貸付基金の現状は

### A 増加傾向にある

**問** 貸付金の推移はどうか。

**教育長** 過去10年間で、最高が平成28年800万1千円、最小が平成24年301万2千円と増加傾向にある。

**問** 償還状況はどうか。

**教育長** 同じく10年間で、最高が平成25年の859万4千円、

育英資金の状況

奨学金の額

- 高等学校 月額 10,000円以内(平成5年から)
- 高専 月額 17,000円以内(平成11年から)
- 大学等 月額 39,000円以内(平成11年から)

貸与の状況 単位:人

年度	高校	大学等	計
平成20年	2	6	8
平成21年	0	4	4
平成22年	0	7	7
平成23年	0	3	3
平成24年	0	0	0
平成25年	1	4	5
平成26年	0	8	8
平成27年	0	4	4
平成28年	0	6	6

**問** 貸付金額が平成5年より変更されていないか。

**教育長** 他自治体と比べて若干差はあるものの、大きく異なる金額とはなっていないと把握している。

**問** 貸付金額の増額についての考えはあるか。

**教育長** 現在の貸付最小額月額3万9千円で年額46万8千円となっている。

**問** 償還額が年度により変動が大きい。

**教育長** 償還方法に分割償還と一括償還があり、一括償還の多

### Q 交通体系の整備の今後はどうなる

### A 本町に適合する形で考える

**町長** 町で行うと給付型と異なり財源が課題となる。

**問** 道路交通法改正おそれによる免許証の取り消しや返納への変化をどう捉えているのか。

**町長** 免許失効や返納が増えることが考えられる。有効な対策は難しく、自家用車に変わる交通手段について、支援策を含めて考慮する必要がある。

**問** 道路福祉を含めた公共交通のあり方を検討している。

**町長** 地域福祉を含め、地域の買い物支援の取り組みなど更に検討を重ね交通事業者とも相談し、デマンドタクシーに限らず本町に適合する交通体系に努めたい。

**問** 「道の駅」や「平泉スマートインターチェンジ」と町内を結ぶ交通体系の整備が必要ではないか。

**教育長** 生活費を考えると増額も増大し、負担が増すこと等も併せ検討していきたい。



交通手段として、さらに活用が期待される「るんるんバス」



佐々木雄一 議員

最小が平成28年414万2千円である。

就学後の帰還を促すことで給付型の育英基金の造成が必要ではないか。

# 生の声を議会や町政に 各種団体と議会との懇談会を開催

**開催月日**  
平成29年10月23日  
午後6時～7時50分  
役場2階会議室

**出席者**  
佐藤孝悟議長、真籐光幸  
議会運営委員長、高橋  
拓生副委員長、千葉勝男  
産業建設常任委員長、  
産業建設常任委員3名  
平泉建築組合員22名

**挨拶**  
真籐議会運営委員長  
「実情を伺い、行政に提  
言できる機会としたい」  
千葉産業建設常任委員長  
「今日の話を議会で建設  
的な方向で進めたい」  
佐藤議長  
「皆さんの忌憚のない意  
見を伺い議会としても  
何らかの対応をしたい」  
千葉東一建築組合長  
「今日の案内はありがた  
い。生の声を聞いてほ  
しい。このことを通じ  
て組合の発展につなげ  
たい」

## 建築組合及び関連団体



**意見・要望**

- ①店舗リフォームは「い  
つまでやるのか」
- ②「町単独ならリフォーム  
ム助成もできるのでは」
- ③水道工事やエコキュー  
ト、水洗化率を上げる  
ための補助等
- ④町の考えている下水道  
工事
- ⑤景観に対する補助
- ⑥地元木材を使用した場  
合の補助

**開催期日**  
平成29年11月17日(金)

**参加者**  
平泉町消防団6名、  
平泉町婦人消防協力隊  
2名、議会側8名

はじめに、佐々木団長  
から消防団結成の歴史的  
な背景と役割、過去の災  
害についての状況と現況  
の課題などが話された。  
その後消防団員、婦人消  
防協力隊から順に意見を  
頂いた。

**消防団員の現状と課題**

- 団員のなり手が不足。
- 団員の高齢化が進んで  
いる。

⑦若い人材の育成のため  
にも生活できる収入が  
必要

⑧遠野市では若者の育成  
事業で給与の一部を自  
治体が負担する取り組  
みをしている

## 消防及び関連団体



○防火服が老朽化してい  
る。

など違う視点の意見が続  
いた。

議長のとめでは、助  
成金等の意見があった  
が、委員会として当局に  
出せるものを整理し対応  
すると締めた。

**懸案事項として、町内  
の無蓋の防火水槽には大  
量の堆積物がある。役場  
には堆積物の早期処理を  
要望しているが、放射能  
汚染で対応できないとの  
事で処理が進んでいな  
い。緊急時に使用できる  
ように対応を急いで欲し  
いとの要望が出された。**

最近の大雨などの自然  
災害の頻発にもなう対  
応など、火災の他にも任  
務が拡大している。消防  
団は地域の安全確保に不  
可欠な組織であるにも関  
わらず、地域コミュニティ  
イの変化や、少子高齢化  
による若年層の減少など  
による団員の慢性的な不  
足の実態がわかった。消  
防団員の確保は喫緊の課  
題であり、入団しやすく  
活動しやすい環境の整備  
を検討すると共に、団員  
の安全の確保のため装備  
の充実が求められる。

**婦人消防協力隊の課題**

- ボランティアであるため  
予算が少なく、出勤手  
当など支給されない。
- 身分保障がない。
- 高齢化が進んでいる。  
との意見を頂いた。

## Q 避難要支援者の個別計画策定の現状は A 今後策定する



高橋 伸二 議員

**問** 名簿を「民生委  
員と共有」し、今  
後は「関係機関と共有す  
る」との答弁だが、個々  
人の同意を得ているのか。

**町民福祉課長** 本人同意を  
得る手続き、  
そこは省略した形になっ  
たかもしれない。

**問** 今後は行政区長  
や自主防災組織と  
の連携が必要となるので  
は。個別計画を策定する

**町民福祉課長** 行政区長な  
どに情報提供  
することになるが、国の  
指針でも本人同意を求め  
ている。名簿と個別計画  
の運用にあたっては地域  
に合った形で進めたい。

**問** 法律が施行され  
て7年になるが、  
個別計画作成が遅々とし

て進んでいない。

**町民福祉課長** 早急に個別  
計画の意義を  
理解いただき、情報共有  
の意向を確認して進めた  
い。

**問** 県内33自治体の  
中で、28市町村が  
同意を取り付けている。  
いつ災害が来ても順応即  
応できるように計画の策  
定が求められる。個別計  
画の策定を臨時職員に特  
化してはどうか。

**町長** 喫緊の課題で  
ある。災害に対  
応できる体制は早急に行  
う必要がある、それに向  
かってやりたい。

## Q カモシカによる食害 対策と本町の対応は A 補助事業活用等 防止策を進めている

**問** 戸河内地区を中  
心とする、イノシ  
シ等の被害に対する本町  
の対応は一定程度成果を  
見ているが、長島地区に  
おけるニホンジカ、カモ  
シカ被害が見過ごされて  
いないか。

**町長** 電気柵を設置  
するなど被害防  
除に努めてきたが、カモ  
シカの管理計画について  
は慎重に対応してまいり  
たい。

**問** 幼歳造林木や農作  
物被害が後を絶たず人と  
カモシカの軋轢が社会問  
題化している。被害が蔓  
延しないうちに対策を進  
める必要があるか。

**町長** カモシカによる、  
その他質問事項  
・大規模災害時の学校に  
おける避難所の運営  
・教職員の長時間労働は  
正に向けた対応

## 農林振興課長 ニホンジカ とカモシカの 食害判別などの課題もあ る。被害の実態把握に、 定点カメラの増配備など 対策を講ずる。

**問** 県のカモシカ管  
理計画は、市町村  
における被害防止対策を  
継続的に支援するもので  
ある。住民の被害意識と  
情報提供が非常に少な  
い。食害の実態把握と地  
域住民の意識啓蒙が求め  
られている。

**農林振興課長** カモシカ管  
理計画はハ  
ドルが高いが、現状を把  
握する中から、イノシシ  
対策の成果を踏まえ、被  
害を減少する対策を講ず  
る必要があると考える。

天然記念物「カモシカ」による食害が  
顕在化している。本町でもカモシカ管理  
計画作成が求められている。それには、  
被害の現状把握が欠かせない。諦めずに  
報告してほしい。

議員の  
ひとりごと



## 議員研修報告

町政調査会は10月10日から12日までの3日間、福岡県と熊本県へ視察研修を行い、11人が参加しました。目的は、国立博物館誘致や農業遺産認定、そして子育て支援策などについてでした。



九州国立博物館での研修

福岡県大宰府市にある九州国立博物館では、西村栄造副館長はじめ、展示課長など3人の課長に應對していただきました。バックヤードと言われる、文化財の修復や展示などを支える舞台裏も見学しました。視察を受け、平泉への誘致を実現させるうえで、①熱意と世論づくり

②建設地の確保③財源確保(一定の募金)④東北全体の意思としての取り組みなどが、必要と認識しました。かつて「東北の都」は平泉でした。蝦夷とさげすまれ、中央政権による侵略・滅亡と言う歴史の経過を踏まえるなら、文化財の収集、保管、修復などの東北の拠点としても、国立博物館を平泉につくる意義があると考えました。ただ、何よりも、誘致が町民全体の意思となるのが最も重要ではないかと思えます。熊本県阿蘇市は、「阿蘇の草原の維持と持続的農業」が世界農業遺産に認定されており、「先進地の経験と課題」について視察しました。県の振興局では、「生物多様性」が最も重要と話していました。あの広大な阿蘇の草原の景観維持は、農村の高齢化など、相当な困難を要することも目の当たりにしました。視察を今後の議会活動に生かしていきたいと思

## 紫波町の交流会



講師 平泉町まちづくり推進課長 八重樫忠郎氏

講師 平泉文化遺産センター館長 千葉信胤氏

紫波町は奥州藤原氏の文化とかかわりを持ち、多くの関連史跡や伝承が残る町で、議会では毎年交流を行っております。今回は中尊寺ハスがつなぐ歴史、文化の交流をテーマに、17名の紫波町議会議員と研修会を行いました。交流会では「道の駅平泉」を案内し、ワイン醸造を目指す平泉の六次産業化についても意見交換を行いました。

一関市・奥州市・平泉町の議員交流会は平泉町を会場に両市から多数の議員の参加があり盛大に行われました。研修会では千葉館長により旅行家「菅江真澄」の目を通して、近世における胆沢、江刺、磐井地方の優れた文化に触れ、改めて2市1町の繋がりについて認識を新たにしました。

## 2市1町交流会

期日 平成29年11月14日  
会場 研修会 平泉町役場  
交流会 道の駅平泉

期日 平成29年12月22日  
会場 研修会 平泉町役場  
交流会 ホテル武蔵坊



研修会 演題 中尊寺ハスがつなぐ紫波と平泉

研修会 演題 胆沢、磐井地方の風土 菅江真澄のまなざしから

# みなさんからの 請願・意見書はこうなりました

12月会議で審査した請願や意見書の結果を報告します。

**私学教育を充実・発展させるための請願 賛成多数で採択**

請願者 手の会  
私学助成をすすめる岩手の会  
会長 土屋直人

紹介議員 三枚山光裕・氷室裕史  
内容 教育条件の維持向上と保護者の経済的負担の軽減を図り、教育内容の充実と私立学校の経営の健全性を高めていくことを求めるためのもの。

**私学助成の充実を求める意見書 賛成多数で可決**

提出者 升沢博子  
賛成者 寺崎敏子・三枚山光裕  
氷室裕史

内容 右記の請願を受けて、同内容の意見書を国等の関係機関に提出するもの。

**住宅リフォーム事業に代わる「住宅、店舗リノベーション事業」の新設に係る請願 賛成多数で採択**

請願者 平泉建築組合  
組合長 菅原東一  
共同請願者184名

紹介議員 高橋拓生・阿部圭二  
高橋伸二

内容 町民の負担軽減、また、地域経済と雇用確保に貢献できる補助事業の新設を図るもの。  
なお、同内容の請願は町長にも提出されている。

**核兵器禁止条約への参加を求める意見書 賛成多数で可決**

提出者 高橋伸二  
賛成者 佐々木一治・三枚山光裕

内容 日本政府が核兵器禁止

条約に署名すること、また両院が核兵器禁止条約を批准することを求める意見書を国に対して提出するもの。

**農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書 全員賛成で可決**

提出者 高橋伸二  
賛成者 千葉勝男・真籠光幸  
阿部圭二・高橋拓生  
三枚山光裕

内容 米の生産者と流通業者の厳しい現状を鑑み、農業者戸別所得補償制度を復活させ、国民の食糧と地域経済を守ることを求めるための意見書を国に對して提出するもの。

案 件 名	賛否のあった議題 (賛成：○、反対：×)										賛 成	反 対	採 決 結 果		
	氷室裕史	高橋拓生	阿部圭二	三枚山光裕	真籠光幸	高橋伸二	升沢博子	佐々木一治	佐々木雄一	千葉勝男					
私学教育を充実・発展させるための請願	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	9	2	採 択
住宅リフォーム事業に代わる「住宅、店舗リノベーション事業」の新設に係る請願書	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	1	採 択
核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出について	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	8	3	可 決
私学助成の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可 決

※ 佐藤孝悟議員は、議長のため採決に加わっていません。この他の議案は全員賛成で可決されました。